



2018年8月6日

各 位

会 社 名 株式会社SUBARU
代 表 者 名 代表取締役社長 中村 知美
(コード番号：7270 東証第1部)
問 合 せ 先 執行役員総務部長 齋藤 勝雄
(TEL 03-6447-8825)

2019年3月期第1四半期連結累計期間業績と前年同期実績との差異に関するお知らせ

本日公表の2019年3月期第1四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年6月30日)の業績と前年同期実績との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期第1四半期累計期間の業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前年同期実績(A) (2018年3月期第1四半期)	百万円 814,010	百万円 119,344	百万円 119,273	百万円 82,326	円 銭 107.38
今回公表実績(B) (2019年3月期第1四半期)	709,227	57,576	60,097	45,463	59.30
増減額(B-A)	△104,783	△61,768	△59,176	△36,863	
増減率(%)	△12.9	△51.8	△49.6	△44.8	

(注) 2019年3月期第1四半期連結会計期間より会計方針を変更しております。そのため、前年同期実績の売上高につきましては、遡及適用後の数値で比較・分析を行っております。

2. 差異の理由

自動車事業部門におきまして、国内市場は、「インプレッサ」および「SUBARU XV」の新型車効果が一巡したことに加え、「フォレスター」が全面改良の直前であったことなどにより、売上台数は2.9万台と前年同期比1.2万台(28.5%)の減少となりました。また、海外市場は、当社の重点市場であります北米を中心に「クロストレック(日本名：SUBARU XV)」の販売が好調に推移したものの、「フォレスター」などの販売が減少したことにより、売上台数は20.9万台と前年同期比2.2万台(9.5%)の減少となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、7,092億円と前年同期比1,048億円(12.9%)の減収となりました。

利益面につきましては、自動車売上台数の減少および諸経費等の増加などにより、営業利益が576億円と前年同期比618億円(51.8%)の減益となり、経常利益につきましても、601億円と前年同期比592億円(49.6%)の減益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、455億円と前年同期比369億円(44.8%)の減益となりました。

以 上